

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月28日
【会社名】	東洋製罐株式会社
【英訳名】	TOYO SEIKAN KAISHA, LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 金子 俊治
【本店の所在の場所】	東京都品川区東五反田二丁目18番1号
【電話番号】	03（4514）2000
【事務連絡者氏名】	総務課課長 浅田 真一郎
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東五反田二丁目18番1号
【電話番号】	03（4514）2000
【事務連絡者氏名】	総務課課長 浅田 真一郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【提出理由】

当社は、平成24年2月28日開催の取締役会において、平成24年10月1日（予定）を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、当社の連結子会社である東洋ガラス株式会社（以下「東洋ガラス」といいます。）及び東罐興業株式会社（以下「東罐興業」といいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換をそれぞれ行うことを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第6号の2の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

（1）当該株式交換の相手会社についての事項

①商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	東洋ガラス株式会社	東罐興業株式会社
本店の所在地	東京都品川区東五反田二丁目18番1号	東京都品川区東五反田二丁目18番1号
代表者の氏名	取締役社長 丸橋 吉次	取締役社長 筒井 栄二
資本金の額 （平成23年3月31日現在）	960百万円	1,531百万円
純資産の額 （平成23年3月31日現在）	23,595百万円（連結） 24,352百万円（単体）	66,082百万円（連結） 51,812百万円（単体）
総資産の額 （平成23年3月31日現在）	58,825百万円（連結） 50,647百万円（単体）	114,067百万円（連結） 76,903百万円（単体）
事業の内容	ガラス製品の製造販売等	紙製品の製造販売等

②最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

東洋ガラス株式会社
（連結）

（単位：百万円）

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	47,037	45,988	46,378
営業利益	△448	682	959
経常利益	△92	1,038	1,381
当期純利益	△302	384	△2,169

（単体）

（単位：百万円）

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	32,248	31,570	31,040
営業利益	△454	631	296
経常利益	4	979	723
当期純利益	312	527	△2,187

東罐興業株式会社
(連結)

(単位：百万円)

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	124,048	121,602	121,826
営業利益	519	4,673	4,331
経常利益	681	4,733	4,407
当期純利益	90	2,395	1,903

(単体)

(単位：百万円)

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	58,140	59,144	59,331
営業利益	240	3,147	2,337
経常利益	441	3,217	2,535
当期純利益	37	1,928	1,515

③大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合

東洋ガラス株式会社

(平成23年9月30日現在)

大株主の名称	発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合
東洋製罐株式会社	97.82%
サントリービジネスエクスパート株式会社	0.84%
柳本直秀	0.41%
島田幸和	0.21%
島田令子	0.10%

東罐興業株式会社

(平成23年9月30日現在)

大株主の名称	発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合
東洋製罐株式会社	86.31%
東洋食品機械株式会社	8.50%
東罐共栄株式会社	2.55%
吉川民江	1.25%
吉川昌宏	0.23%

④提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

東洋ガラス株式会社

資本関係	当社は、平成23年9月30日現在、東洋ガラスの発行済株式の97.82%を保有しております。
人的関係	当社の取締役3名が東洋ガラスの取締役（うち2名は代表取締役）を兼任しており、また、当社の監査役2名が東洋ガラスの監査役を兼任しております。
取引関係	当社は、東洋ガラスに対し、資金の貸付を行っております。 当社は、東洋ガラスに対し、事務所の賃貸を行っております。

東罐興業株式会社

資本関係	当社は、平成23年9月30日現在、東罐興業の発行済株式の97.37%（29,794,136株、間接保有分を含む。）を保有しております。
人的関係	当社の取締役3名が東罐興業の取締役（うち2名は代表取締役）を兼任しており、また、当社の監査役2名が東罐興業の監査役を兼任しております。
取引関係	当社は、東罐興業の製品を購入し、また、東罐興業は、当社の製品を購入しております。 当社は、東罐興業に対し、資金の貸付を行っております。 当社は、東罐興業に対し、事務所の賃貸を行っております。

（2）当該株式交換の目的

現在、当社グループは、平成25年3月期を最終事業年度とする東洋製罐グループ第二次中期経営計画において、「人」と「技術」を基軸としたグループ結束力の強化によりグループシナジーの創出を図り、「C S R経営の推進」をベースに「既存事業の収益力強化」、「海外事業展開」、「新規事業展開」を強力に推進し企業価値の最大化を目指す基本方針のもと、諸施策の遂行に鋭意取り組んでおります。

もっとも、当社グループを取り巻く経営環境は、国内市場の成熟化や競合各社との競争激化により一段と厳しさを増しております。

このような環境下において、当社グループは、経営環境の変化に柔軟に対応するとともに競争力の強化を図り、持続的な成長を可能とするため、持株会社体制へ移行することといたしました。これにより、グループ経営戦略の策定機能と業務執行機能を分離することで経営責任体制を明確化し、強固なグループガバナンス体制を構築していく予定です。

持株会社は、グループ全体の経営戦略及び目標を明確に定め、グループ内の経営資源の最適配分を行うことにより事業の選択と集中を図るとともに、グループ各社の間接業務について集約を行い業務の効率化と高度化を推進する予定です。また、各事業子会社は、経営意思決定の迅速化による機動的かつ効率的な事業運営を推進していく予定です。以上の取り組みにより、当社グループは企業価値の最大化を追求してまいります。

当該株式交換は、かかる当社の持株会社体制への移行にあたり、当社グループ内の意思決定の迅速化を図り、機動的なグループ経営を推進するという観点から、当社連結子会社である東洋ガラス及び東罐興業を当社の完全子会社とすることを目的として実施するものであります。

（3）当該株式交換の方法、株式交換完全子会社となる会社の株式一株に割り当てられる株式交換完全親会社となる会社の株式の数その他の財産の内容その他の株式交換契約の内容

①株式交換の方法

会社法第767条に基づき、当社を株式交換完全親会社、東洋ガラス及び東罐興業を株式交換完全子会社とする株式交換をそれぞれ行うことを予定しています。

②株式交換に係る割当ての内容その他の株式交換契約の内容

本臨時報告書提出日現在において、当該株式交換に係る株式交換契約は締結されておらず、当該株式交換の詳細については未定であります。

（4）株式交換に係る割当ての内容の算定根拠

当該株式交換の株式交換比率その他株式交換に係る割当ての内容等の詳細については、今後、関係当事者間で協議の上決定いたします。

（5）当該株式交換の後の株式交換完全親会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	東洋製罐株式会社
----	----------

本店の所在地	東京都品川区東五反田二丁目18番1号
代表者の氏名	取締役社長 金子 俊治
資本金の額	11,094百万円
純資産の額	現時点では確定していません。
総資産の額	現時点では確定していません。
事業の内容	包装容器の製造販売等

なお、本臨時報告書記載の未定事項につきましては、決定次第、本臨時報告書の訂正報告書を提出いたします。

以 上